

平成 19 年 4 月 6 日

各 位

会社名 株式会社 スギ薬局
代表者名 代表取締役社長 杉浦 広一
(コード番号 7649 東証・名証一部)
問合せ先 常務取締役管理本部長 金井 哲治
(TEL 0566-73-6300)

特別損失の発生および業績予想の修正に関するお知らせ

この度、平成 19 年 2 月期に下記の特別損失の計上を行うこととなったため、最近の業績の動向等も踏まえ、平成 18 年 4 月 14 日の決算発表時に公表した平成 19 年 2 月期(平成 18 年 3 月 1 日～平成 19 年 2 月 28 日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 平成 19 年 2 月期業績予想数値の修正(平成 18 年 3 月 1 日～平成 19 年 2 月 28 日)

(連結)

(金額の単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	216,000	10,200	4,600
今回修正予想(B)	217,229	10,090	4,000
増減額(B-A)	1,229	110	600
増減率(%)	0.6%	1.1%	13.0%

連結子会社たる株式会社ジャパンの株式のみなし取得日が平成 18 年 2 月 28 日であるため、前期に連結損益計算書を作成しておりません。従いまして、前期との比較はございません。

(単体)

(金額の単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	
前回発表予想(A)	143,000	8,130	4,450	
今回修正予想(B)	144,999	7,946	3,752	
増減額(B-A)	1,999	184	698	
増減率(%)	1.4%	2.3%	15.7%	
(ご参考)	前期実績	122,928	6,549	3,744
	前期対比(%)	118.0%	121.3%	100.2%

2. 修正の理由

(単体)

当期において、売上高につきましては、既存店の売上高が前年同期比 106.9%と予想以上に堅調に推移したこと、および、52 店舗の新規出店効果により、売上高は 1,449 億 99 百万円(前年同期比 118.0%)となる見込みであります。

営業利益につきましては、薬価改定の影響や花粉症関連商材の売上減少等の要因により売上総利益が40,116百万円(前年同期比114.6%、売上総利益率27.7%)となる見通しであり、また、人件費等の増加要因はあるものの、コスト削減に取り組んだ結果、販管費は32,923百万円(前年同期比113.2%、売上高販管費比率22.7%)となる見通しであることから、営業利益は7,193百万円(前年同期比121.1%、営業利益率5.0%)となる見通しであります。

経常利益につきましては、リース解約損等の営業外費用が発生したものの、受取配当金等が増加したことにより、経常利益は7,946百万円(前年同期比121.3%、経常利益率5.5%)と過去最高益を更新する見通しであります。

特別損失につきましては、当社は2000年9月に顧客管理システムを導入し、お客様にスギポイントカードを発行しておりますが、その景品ポイント債務の計上額に不足があることが判明したため、不足額635百万円を特別損失として計上する予定であります。また、減損会計の導入にともなう特別損失が592百万円発生する見通しであること等を主因に、特別損失の合計額は1,412百万円となる見通しであります。

以上の結果、当期純利益は3,752百万円(前年同期比100.2%、当期純利益率2.6%)となる見通しであります。

(連結)

連結業績につきましては、子会社の業績が概ね期初見込み通りであり、当社単体の業績修正が主要因となることから、連結売上高2,172億29百万円、連結経常利益10,090百万円(経常利益率4.6%)、連結当期純利益4,000百万円(当期純利益率1.8%)となる見通しであります。

なお、当社は平成19年4月13日に決算発表を予定しておりますが、上記に記載の内容以外の詳細につきましては、決算発表にてご報告させていただきます。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上